

三子 供水抵左通

一 寛政八辰復供水... 二番樋切流...
二 番樋上打抜切流... 山... 村内
大損之

一 改政十子八月大凡... 勿得惜家... 家... 古... 之

一 日十二丑月供水... 向井代... 切... 二...

樋切流... 山... 古... 方... 之

一 嘉永三戌六月... 向井代... 石... 樋... 切流... 二番樋... 打... 樋... 山... 上... 村... 内... 方... 之

一 日八月四日... 供水... 向井代... 打... 樋... 竹... 樋... 山... 上... 打... 樋... 在... 多... 年... 出... 打... 樋... 防... 切流... 不... 仕... 之

一日方夜方風雨浩如川際推前七五方風
將家推家獨林山樵而移

一劫番通移玉是近方水一度每切流地換
多怪前自南度一場所碧波無度方出多少
百姓多事影出有得計之分付如此既至極
起之多考依多愁百姓多後住一院居金直
場所碧波書為文正教所出地碧正歌書有
亦多考正世路之入去之正也件一之

種之少能任新境無獨方其亦新境下野
古從以多記而度房亦多之子秋之皆欲就
仕商度之格而一亦氣正意思供而推不任度
善信諸方之子善道一亦個書刻其別所

洪水控左之通

一寛政八辰夏洪水之節ハ一番樋切流候ニ付
二番樋江打抜ニ切流其外城山上ミ下モ共村内
大損也

一文政十一子八月大風ニ而転木者勿論転家損
家等数々大損也

一同十二丑五月洪水之節ハ向井代越切ニ而二番
樋切流城山より上ミ大損也

嘉永三戌六月朔日洪水之節ハ向井代石堤
一切流二番樋江打抜樋左右切流城山より上ミ村
内大損也

一同八月四日洪水ニ付向井代平打堤余程築上ケ
候処、根足堀流川平大半ずり損、尤多人数罷出
相働漸防留メ切流ハ不仕候事

一同七日夜大風雨洪水川除損所も有、大風ニ而
転家損家腰林山転木数々

一式番樋横土手是迄大水之度毎切流地損
不軽義ニ付、当度ハ場所替致呉度旨土手下夕

百姓方厚願出候ニ付、得斗見分仕候処、此願至極
尤二被相考、依而惣百姓江示談仕、一統居合之上
場所替願書尚又御敷所土地替御歎書付

相差出シ御蔭を以夫々御免許ニ至り候ニ付
種々心配仕新堤築調方其外新堤下畝高

古堤跡江分配壳渡等ニ至ル迄子秋迄ニ皆成就
仕、当度ハ格外之奉蒙御慈悲、洪水損所仕戻

普請諸万事子暮迄ニハ相調委細ハ夫々別帖ニ有
之候事

切流	破損流出
打抜	激突破損
転家損家	家屋の倒壊・破損
越切	越水・氾濫
根足	(土手・堤防の基礎部分)
川除	(かわよけ) 堤防などの 水害防止施設
見分(検分)	状況を査察す ること、取調べること
居合(おりあい)	しずまり落 ち着くこと、おさまること
仕戻普請	復旧工事